

## 台湾現代史シラバス 2021

総合文化研究科地域研究専攻・アジア太平洋地域文化演習Ⅱ（修士）「台湾現代史」  
 総合文化研究科地域研究専攻・アジア太平洋地域文化演習Ⅱ（博士）「台湾現代史」  
 教養学部教養学科地域文化研究アジア・日本研究「東アジア地域文化演習」「台湾現代史」  
 法学政治学研究科総合法政専攻・「台湾現代史」

法学部後期課程・アジア政治外交史演習「台湾現代史」

時間：2021年冬学期（A1）（月曜日4・5時限目：14:55-1640、1650-1835）

教室：駒場キャンパス（未定）＋（必要に応じてオンラインのハイブリッド授業とする）

講義題目（Course Title）	台湾現代史
授業の目標・概要 （ Course Objectives/Overview）	現代台湾を、歴史、政治、経済、国際関係、安全保障など様々な側面から論じる。台湾問題の複雑さを理解すると同時に、台湾を媒介として現代の国際関係を理解することを目的とする。中国大陸の東南、北東アジアの西南、東南アジアの北東に位置し、多くの「外来勢力」の歴史によって彩られた台湾は、自ずと独特の重層的社会を作り上げた。台湾を理解するには、台湾そのものに対する深い洞察が必要である同時に、台湾を包摂する多重的な地域の文脈をふまえないといけないのである。特に1990年代以降、民主化をはじめとする台湾内部の変化とその国際的地位の変化には刮目すべき点が多い。この結果、台湾は学問的研究の対象としてのみならず、この地域で活動するあらゆる実務家にとって無視することのできない重要な地域となった。討論では現地でしか得られない情報や感覚を紹介すると共に、どのようにしてそれらを学問的に理解し、説明するかを追求したい。受講者からの活発な質問を歓迎する。
授業のキーワード （Keywords）	[日本語用] ①台湾、②中国、③日台関係、④外交、⑤一党支配、⑥民主化 [外国語用] Taiwan, China Japan-Taiwan relations, diplomacy, one-party rule, democratization
授業計画 （Schedule）	(1) ガイダンス (2) 講義：地理・人文・歴史（講義） (3) 講義：日本の植民地統治（1895-1945）（講義） (4) 中華民国による接収と混乱（1945-49） (5) 蔣介石政権：一党独裁体制の成立と強化（1950-72）① (6) 蔣介石政権：一党独裁体制の成立と強化（1950-72）②

	<p>(7) 蔣経国政権：孤立と繁栄と自由化改革（1972-88）①</p> <p>(8) 蔣経国政権：孤立と繁栄と自由化改革（1972-88）②</p> <p>(9) 李登輝政権：民主化と実用主義外交（1988-2000）①</p> <p>(10) 李登輝政権：民主化と実用主義外交（1988-2000）②</p> <p>(11) 陳水扁政権：アイデンティティ政治の展開と改革の空転（2000-08）</p> <p>(12) 馬英九政権：対中国融和と市民社会の成熟（2008-16）</p> <p>(13) 蔡英文政権：繁栄と自立のディレンマ（2016-）</p>
<p>授業の方法 (Teaching Methods)</p>	<p>全員が必読文献を事前に読んで、前日までにコメントをITC-LMSに提出すること。コメントの内容は①感想、②疑問点であり、授業当日の討論の参考にする。履修者は全員最低1回発表し、学期末にレポートを提出することが求められる。討論には受講者全員が参加することとする。</p>
<p>成績評価方法 (Method of Evaluation)</p>	<p>平常点（文献のレビュー、出席、討論参加で採点）およびレポート（形式、事実、論理構成で採点）により、成績をつける。</p>
<p>教科書 (Required Textbook)</p>	<p>川島真・清水麗・松田康博・楊永明共著『増補版』日台関係史—1945-2020—』（東京大学出版会、2020年）。</p>
<p>参考書 (Reference Books)</p>	<p>ガイダンス時に指定する。</p>
<p>履修上の注意 (Notes on Taking the Course)</p>	<p>特になし。</p>
<p>関連ホームページ (Course-Related Websites)</p>	<p><a href="http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/~ymatsuda/jp/index.html">http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/~ymatsuda/jp/index.html</a></p>
<p>その他 (Others)</p>	<p>次年度も開講予定である（内容を変える）。</p>
<p>メールアドレス (E-mail Address)</p>	<p>ymatsuda@ioc.u-tokyo.ac.jp</p>
<p>研究室電話番号 (Laboratory room phone no.)</p>	<p>03-5841-5871</p>